



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年7月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
コード番号 9997 URL <https://www.belluna.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 安野 雄一郎 (TEL) 048-771-7753
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	51,842	△3.0	1,156	△34.0	1,859	△24.1	1,385	0.2
2023年3月期第1四半期	53,439	△9.3	1,753	△24.3	2,452	△7.8	1,382	△16.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 5,153百万円(267.9%) 2023年3月期第1四半期 1,400百万円(△41.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	14.33	—
2023年3月期第1四半期	14.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	291,840	130,701	44.4
2023年3月期	285,592	126,436	43.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 129,620百万円 2023年3月期 125,496百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	10.25	—	10.25	20.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	99,200	0.4	4,100	11.1	4,400	△5.8	3,200	12.3	33.10
通期	219,000	3.1	14,000	24.8	14,700	18.0	9,400	26.7	97.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期1Q	97,244,472株	2023年3月期	97,244,472株
2024年3月期1Q	554,248株	2023年3月期	554,248株
2024年3月期1Q	96,690,224株	2023年3月期1Q	96,685,233株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行したことなどに伴い社会経済活動が正常化に向かう中、国内の消費活動は回復傾向となりました。一方で円安の進行や長期化するウクライナ情勢を背景とした資源価格の高騰により物価上昇が進行しており、先行きが不透明な状況が継続しております。国内の個人消費につきましては、物価上昇の影響はあるものの、消費活動が活発化し回復傾向にあります。通信販売業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による巣ごもり需要が弱まったものの、幅広い顧客層からの通販利用が継続拡大しております。

このような環境下におきまして、当社グループはアパレル・雑貨事業、化粧品健康食品事業、グルメ事業、ナース関連事業、データベース活用事業、呉服関連事業、プロパティ事業、その他の事業の8セグメントにおいて、外部環境の変化へ対応するためポートフォリオ経営の成熟に取り組んで参りました。その結果、当連結会計年度の売上高は51,842百万円（前年同期比3.0%減）となり、営業利益は1,156百万円（同34.0%減）となりました。経常利益は1,859百万円（同24.1%減）となり、また、投資有価証券売却益が発生したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,385百万円（同0.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

[アパレル・雑貨事業]

アパレル・雑貨通販事業においては、原材料や資材の価格高騰を受け、商品価格の見直しや紙媒体における発行量の抑制を行いました。商品価格の見直しにより受注単価は上昇したもののレスポンスは鈍化傾向となりました。また、紙媒体の発行量を抑制したため新規顧客の獲得が減少し、稼働顧客数も減少傾向となりました。この結果、売上高は21,911百万円（同17.5%減）となり、セグメント利益は278百万円（同66.0%減）となりました。

市場動向を踏まえた価格設定を意識し競争力は確保するものの、引き続き売上の拡大ではなく収益性を重視した事業運営を行います。

[化粧品健康食品事業]

化粧品通販事業においては、国内の新規顧客獲得強化のため積極的に広告宣伝費を投下した結果、大幅な減益となりました。一方で計画通りに新規顧客の獲得が進んだため増収となりました。通期においては獲得した顧客の収益化により増益での着地を見込んでいます。健康食品通販事業においては、インフォーマーシャルを中心に新規顧客獲得の強化を図りましたが減収となり、一方で獲得効率が改善し増益となりました。この結果、売上高は3,764百万円（同3.7%増）となり、セグメント損失は41百万円（前年同期は273百万円のセグメント利益）となりました。

[グルメ事業]

グルメ通販事業においては、原材料や資材の価格高騰を受け、一部商品において価格の見直しを行いました。また、原価高騰に伴い、広告宣伝費の抑制を行っております。この結果、売上高は6,733百万円（同0.3%増）となり、セグメント利益は82百万円（同55.0%減）となりました。

[ナース関連事業]

看護師向け通販事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大時に増加した特需顧客向けの紙媒体発行を抑制する等、広告宣伝費の適正化を行い、収益性確保を優先した事業運営を行いました。この結果、売上高は3,792百万円（同8.4%減）となり、セグメント利益は249百万円（同61.5%増）となりました。

[データベース活用事業]

封入・同送サービスにおいては、新たなサービスの強化を図ったもののアパレル・雑貨事業におけるカタログ発行数及び商品出荷件数の減少により減益となりました。ファイナンス事業においては、新規顧客獲得の拡大により増収増益となりました。この結果、売上高は4,357百万円（同16.0%増）となり、セグメント利益は1,380百万円（同3.1%減）となりました。

〔呉服関連事業〕

和装販売事業においては、店舗縮小による来店顧客数減少などの影響により減収減益となりましたが、㈱さが美、㈱東京ますいわ屋における構造改革が引続き浸透し、収益力の向上が図られました。また、衣裳レンタル事業においては卒業式袴レンタルの早期受注会の実施による大幅な受注増に伴い、受注経費の増加が発生しました。この結果、売上高は3,991百万円（同9.7%減）となり、セグメント損失は851百万円（前年同期は813百万円のセグメント損失）となりました。

〔プロパティ事業〕

ホテル事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限や外国人の入国規制が緩和され、旅行や出張による宿泊需要が回復したことで、既存ホテルの稼働率や客室単価等が改善し、大幅な増収増益となりました。この結果、売上高は6,333百万円（同95.8%増）となり、セグメント利益は209百万円（前年同期は219百万円のセグメント損失）となりました。

〔その他の事業〕

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための行動制限が緩和された影響により飲食店事業は増収増益となりました。一方で、宿泊予約事業においては新規顧客獲得のため積極的に広告宣伝費を投下したことにより減益、アパレル卸売事業においては販売先の展開縮小等により減収減益となりました。この結果、売上高は1,132百万円（同11.9%減）となり、セグメント損失は28百万円（前年同期は47百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比674百万円増加し、123,339百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,822百万円減少した一方で、商品及び製品が1,295百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比5,573百万円増加し、168,501百万円となりました。これは主に建設仮勘定が6,378百万円減少した一方で、建物及び構築物が9,880百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比6,248百万円増加し、291,840百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比2,663百万円減少し、61,924百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が1,066百万円、電子記録債務が1,088百万円、契約負債が1,198百万円増加した一方で、短期借入金が3,094百万円、未払費用が1,597百万円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比4,647百万円増加し、99,215百万円となりました。これは主に、長期借入金が4,470百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比1,983百万円増加し、161,139百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比4,264百万円増加し、130,701百万円となりました。この結果、自己資本比率は44.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2023年5月12日の公表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,111	30,288
受取手形及び売掛金	10,397	10,976
電子記録債権	-	2
営業貸付金	29,378	29,673
有価証券	170	185
商品及び製品	28,397	29,692
原材料及び貯蔵品	1,530	691
販売用不動産	5,780	5,629
仕掛販売用不動産	2,893	2,960
その他	12,817	14,094
貸倒引当金	△811	△855
流動資産合計	122,664	123,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	43,913	53,793
機械装置及び運搬具（純額）	6,681	6,724
工具、器具及び備品（純額）	1,797	1,884
土地	46,919	47,018
リース資産（純額）	156	139
建設仮勘定	30,027	23,649
有形固定資産合計	129,495	133,209
無形固定資産		
のれん	1,487	1,302
リース資産	352	307
その他	8,734	9,641
無形固定資産合計	10,574	11,252
投資その他の資産		
投資有価証券	14,371	15,328
長期貸付金	1,812	1,928
破産更生債権等	179	179
繰延税金資産	1,396	887
その他	5,724	6,379
貸倒引当金	△627	△664
投資その他の資産合計	22,857	24,039
固定資産合計	162,928	168,501
資産合計	285,592	291,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,723	14,789
電子記録債務	5,442	6,531
短期借入金	20,326	17,232
1年内償還予定の社債	20	20
未払費用	15,086	13,489
リース債務	239	222
未払法人税等	1,875	1,327
契約負債	3,756	4,955
賞与引当金	1,028	515
店舗閉鎖損失引当金	13	13
その他	3,074	2,828
流動負債合計	64,587	61,924
固定負債		
社債	5,020	5,010
長期借入金	85,462	89,932
利息返還損失引当金	389	407
リース債務	273	229
退職給付に係る負債	160	203
役員退職慰労引当金	249	249
資産除去債務	1,134	1,138
修繕引当金	94	102
その他	1,785	1,943
固定負債合計	94,568	99,215
負債合計	159,155	161,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,951	10,951
利益剰余金	108,663	109,082
自己株式	△462	△462
株主資本合計	129,765	130,183
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,702	2,538
繰延ヘッジ損益	106	637
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△6,071	△3,709
退職給付に係る調整累計額	0	△21
その他の包括利益累計額合計	△4,268	△562
非支配株主持分	940	1,080
純資産合計	126,436	130,701
負債純資産合計	285,592	291,840

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	53,439	51,842
売上原価	21,352	20,036
売上総利益	32,087	31,805
販売費及び一般管理費	30,333	30,648
営業利益	1,753	1,156
営業外収益		
受取配当金	97	143
為替差益	442	504
その他	270	224
営業外収益合計	810	872
営業外費用		
支払利息	75	101
支払手数料	7	17
店舗閉鎖損失	15	18
その他	14	31
営業外費用合計	111	169
経常利益	2,452	1,859
特別利益		
投資有価証券売却益	-	427
特別利益合計	-	427
特別損失		
固定資産除却損	6	2
投資有価証券評価損	80	68
特別損失合計	86	71
税金等調整前四半期純利益	2,365	2,215
法人税、住民税及び事業税	903	828
法人税等調整額	74	△4
法人税等合計	977	824
四半期純利益	1,387	1,391
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,382	1,385

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	1,387	1,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△225	835
繰延ヘッジ損益	133	530
為替換算調整勘定	119	2,418
退職給付に係る調整額	△14	△22
その他の包括利益合計	13	3,761
四半期包括利益	1,400	5,153
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,390	5,091
非支配株主に係る四半期包括利益	10	61

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ ィ事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	データベ ース活用 事業	小計					
売上高											
外部顧客への売上高	26,428	3,629	6,666	4,132	3,712	44,569	4,394	3,217	1,258	—	53,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	121	0	49	6	44	222	25	17	27	△292	—
計	26,549	3,629	6,716	4,139	3,757	44,791	4,419	3,235	1,285	△292	53,439
セグメント利益(又は セグメント損失△)	820	273	183	154	1,424	2,856	△813	△219	47	△117	1,753

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳67百万円とのれん償却費△184百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	通販事業						呉服関連 事業	プロパテ ィ事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	アパレル ・雑貨 事業	化粧品 健康食品 事業	グルメ 事業	ナース 関連 事業	データベ ース活用 事業	小計					
売上高											
外部顧客への売上高	21,872	3,764	6,678	3,792	4,339	40,446	3,971	6,312	1,111	—	51,842
セグメント間の内部 売上高又は振替高	39	0	55	0	17	113	19	21	20	△175	—
計	21,911	3,764	6,733	3,792	4,357	40,560	3,991	6,333	1,132	△175	51,842
セグメント利益(又は セグメント損失△)	278	△41	82	249	1,380	1,950	△851	209	△28	△122	1,156

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳70百万円とのれん償却費△193百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。